

気づきにくい！認知症患者の存在

*アルツハイマー型認知症は話し上手であることが多い

認知症と一口にいても、2種類の認知症を持っていたり、人によっては症状が異なります。認知症だと気づかない場合もあります。そのために小さなサインは見逃せません。認知症は早期の治療がとても重要だからです。

中でもアルツハイマー型認知症の方は話が上手であることが多く、その場をとり繕い、受け答えが上手かったりして、ごまかされることも多いと言われています。たとえば人名が思い出せなくても、周囲の人に自然に確認してみたり、比較的しっかり受け答えできたりしてしまうケースが多いので、初期の頃に認知症だと認識されないことも多いと言われています。しかしこのとり繕いがいくら上手でも、そのうち辻褄が合わないことも出てくる場合があります。

とり繕いの言動があつて、明らかにおかしいと思つても、これをいきなり否定してはいけません。この行動は無意識ではありますが、人として周囲と上手く過ごしていきたいという本人の思いやりです。社交性や、やさしさというものなので、これがある限り前向きに介護していくという考え方が正しいでしょう。そしてこの受け答えに関しては、あまり本人と面識のない相手だと気づきにくいという点があります。毎日過ごしてる家族だと気づくことが多いのです。小さなサインも見逃さないようにしていきましょう。

3月の予定

誕生会

24日 運営推進会議

4月の予定

誕生会

19日 いきいきサロン



南之郷新聞



平成29年3月号(南之郷新聞 第33号)

発行日：平成29年3月10日

〒899-8608 鹿児島県曾於市末吉町南之郷 8130 番地 1

社会福祉法人南之郷

地域密着型特別養護老人ホーム南之郷

認知症高齢者グループホーム南之郷

発行人：施設長 富永 つや子

2月28日 消防・避難訓練



火元！発見！

ゆっくりね

もう少しだよ

いち！に！いち！に！

放水！



みなさんの安全は、わたしたちが守ります

2月の誕生日の方です



ありがとう



誕生会

おいしいね



♪ハッピーバースデー♪



みんなで作りました！！

